

ふりがな氏名	やまもと よしふみ 山本 佳史	都道府県	大阪府	
所属/肩書	<ul style="list-style-type: none"> ・一般社団法人ソーシャルギルド/代表理事 ・一般社団法人こどものホスピスプロジェクト/広報・ファンドレイジング・あそび創造広場担当 			
私のESD活動	<p>「孤独・孤立の解消」と「多様性ある社会づくり」に向け、若者とともマルチセクターの連携を構築する</p>			

活動の概要

大学でボランティア論などを教えながら、非営利組織のファンドレイズや、産学連携機関などに関わっています。高校生の頃から理科教育に関わり、開発教育、ESDへと発展してまいりました。ゲームを通じてSDGs(持続可能な開発目標)を学ぶワークショップや、若者関係のサミット等のファシリテーターなどもさせていただいております。

多様なスキルをもつ若者によるチーム「ソーシャルギルド」では、主に下記の取組みを重ねてきました。

- ・地域自治組織との協働： 小学校敷地内での農を通じたコミュニティづくり、多世代参加でのウォールペインティング
- ・地域自治組織との協働： 中学生主体の防災リーダー育成
- ・(特活)関西NGO協議会との協働： 高校生による国際協力・多文化共生活動のリーダー育成
- ・(特活)NICE、(特活)みんなの未来かいたく団との協働：

ワークキャンプを通じて、若者が農にふれあいながら、持続可能な環境づくりに対して考え・行動する機会の提供(河内長野に空き家と預かっている放棄地を所有)

他方では、国内で唯一のコミュニティ型こどもホスピスのスタッフとして、施設隣接の広大な原っぱを「あそび創造広場」として、あらゆる子どもたちを対象にした遊びと学びの場づくりを推進しています。多様な主体との連携を常に重視しながら、さまざまなアプローチを通じて、「孤独・孤立の解消」と「多様性ある社会の構築」に向け活動を進めてまいります。

○「ソーシャルギルド Facebook」 <http://socialguild.net/>

○「こどものホスピスプロジェクト」 <http://www.childrenshospice.jp/>

今後の活動や協働への展望

私自身は、神戸での在住外国人支援から始まり、市民活動中間支援組織、東日本大震災におけるセクター間のプラットフォーム構築、耕作放棄地の再生と若者の成長支援、地域自治組織を中心としたまちづくり、開発教育のワークショップ実践など、幅広い分野でESDやSDGsが掲げる領域に関わってきました。

この強みを活かして、「コーディネーター」あるいは「ファシリテーター」として多様な活動をつなぎ、連携を促進する役割を担っていきたいと考えています。特に2015年度に国連で採択された「SDGs」は、企業活動との接点を構築していくうえで重要なキーワードと考えておりますので、非営利セクターと企業がともに企画する人材研修や、ユース世代への社会教育としてコンテンツの提供までおこなっていきたいと考えております。

また「あそび創造広場 TSURUMI こどもホスピス」での展開としては、地域に向けて多様な学びを提供するとともに、いのちに関わる病気をもつ子どもとその家族が、多様な市民とまじわりながら、地域の中で融和していく土壌を醸成していくために、自然環境を活用したESDの普及啓発をすすめつつ、様々な団体にとっての協働実践の場にしたいと考えております。ちょうど今年度から、多様な団体との協働をすすめる「広場連携プログラム」もスタートしました。このようなトライアルの積み重ねを通じて、持続可能な社会づくりに向けた対話を進める役割を担いたいと思います。